

報道発表



令和4年3月18日

令和3年度「文化庁日本語教育大会（WEB大会）」の公開について

文化庁は、日本語教育に関する国の施策や様々な取組の現状について理解の増進を図り、日本語教育の充実と推進に資することを目的として、令和3年度「文化庁日本語教育大会（WEB大会）」を開催します。

文化庁日本語教育大会は、広く日本語教育に関わる方々を対象に、日本語教育に関する国の施策や様々な取組の現状について理解の増進を図り、日本語教育の充実と推進に資することを目的として、昭和51年から開催しています。

例年は会場を設けて対面形式で行っておりますが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「文化庁日本語教育大会（WEB大会）」と銘打ち、日本語教育に関する様々な観点からの動画コンテンツを作成し、どなたでもご覧いただけるよう公開する形としております。

コンテンツの内容は以下のとおりです。

- ・「日本語教育の参考枠」に関するオンラインシンポジウム
- ・日本語教育に関する最新の施策
- ・地域の日本語教育の体制づくりや、日本語教育人材の研修プログラムの開発・実践など、文化庁事業の受託団体による具体的な取組の様子
- ・地域で日本語を学ぶ外国人や、日本語教育に携わっている方々に対するインタビュー など

多くの方に何回でも見ていただけることを意識し、簡潔な施策説明や、実際に活躍されている方々のインタビュー等の動画を収録するとともに、それに関連する資料を豊富に掲載し、これまでの対面方式での開催と同等あるいはそれ以上の質と量の情報が得られる大会となるよう工夫しておりますので、是非ご覧ください。

(掲載 URL)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/taikai/r03/93679501.html

<担当>

文化庁国語課 伊藤、加藤、松井、北村

電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-2840（直通）

令和3年度 文化庁日本語教育大会 Web大会

映像プログラム

■施策説明：文化庁における日本語教育施策について（文化庁国語課）

■シンポジウム動画：

「日本語教育の参照枠」から考えるこれからの日本語教育の展望
～Can doベースのカリキュラムによって授業はどのように変わるか～



大阪大学 名誉教授



公益財団法人しまね国際センター
多文化共生推進課長



コミュニケーション 学院長



一般財団法人 日本国際協力センター
国際協力推進部長

真嶋 潤子氏

仙田 武司氏

奥田 純子氏

長山 和夫氏

■「日本語教育の参照枠」について（文化庁国語課）

■総括コーディネーターってこんな人

～都道府県・政令指定都市が取り組む体制づくりにおける役割を探る～

- 千葉月香氏(愛知県多文化共生推進室)
- 矢野花織氏(公益財団法人北九州国際交流協会)

■利用者に聞いてみた！

ここが使える「つながるひろがる にほんごでのくらし」

- 特定非営利活動法人 フィリピンナガイサ(静岡県浜松市)
- 中能登町国際交流の会(石川県)

■日本語教育人材研修プログラム全国展開始まる！

- 就労者に対する日本語教師【初任】研修
- 日本語教師【中堅】研修

- 難民等に対する日本語教師【初任】研修
- 地域日本語教育コーディネーター研修 など

参加(視聴)方法

文化庁 日本語教育大会(Web大会)サイトにて公開中

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/taikai/

主催 文化庁 お問い合わせ 文化庁国語課 電話:03-5253-4111(内線2840) メール:nihongo@mext.go.jp



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan